

米国 悪天候など一時的な要因で減少（09年12月小売売上高）

発表日：2010年1月14日（木）

～コア小売売上は緩やかな回復ペースを維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

○12月の小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.3%（前月同+1.8%）と市場予想の同+0.5%に反し失速した（10、11月合計で+0.6%上方修正）。自動車、家電、衣料品販売の減少、ガソリン価格の下落によるガソリン販売の増加ペース鈍化等を背景に、小売売上全体が押し下げられた。変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.2%（前月同+1.9%）と市場予想の同+0.3%に反し失速したが、10、11月合計で0.7%上方修正されており、実質的には予想よりも良い内容といえる。小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）が前月比▲0.3%（前月同+0.9%）と失速したうえ、ガソリン販売の増加ペースが鈍化し、建設資材が減少に転じた。大雪による客足の減少、大幅な値下げ販売、利用するまで売上に計上されないギフトカードの販売増加等によって小売売上高は下ぶれたが、これらは一時的な要因である。このため、信用コストの高まりが続く中で、景気対策による所得の押し上げ、マインドの下げ止まり、株価の上昇などに支えられ、小売売上高は緩やかな回復基調を維持していると判断される。

○予想を下回った同統計の発表直後の市場反応をみると、株先物は下落した。一方、債券市場では10年債利回りは小幅低下した。為替市場では、ドルが対円で弱含み、対ユーロでも一旦ドルが売られたもののドル高に転じた。

○業態別の売り上げでは、スポーツ用品・本・趣味用品、薬局が加速した。一方、自動車・同部品、家電、建設資材、食品・飲料、その他小売、飲食店が減少に転じ、衣料品が減少幅を拡大した。さらに、家具、通信販売、ガソリンスタンド、百貨店が拡大ペースを鈍化した。

○3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で小売売上高のモメンタムをみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+7.9%（前月+6.9%）と加速した。このナンバーはガソリン価格変動の影響を受けるため、小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）をみると、+5.5%（前月+5.9%）と高い伸びとなっており、小売売上高は勢いを保っている。

○10～12月期のコア小売売上高は、前期比年率+5.5%と7～9月期の同+1.7%から加速している。ただし、10～12月期の自動車販売台数は、自動車メーカーによる値引き、キャッシュバックなど多様なインセンティブの拡大によって大幅な落ち込みは回避されたものの、季節調整済年率換算で1,080万台（7～9月期同1,149万台）と減少したことから、10～12月期の実質個人消費は前期比年率+2%前後（7～9月期同+2.8%）の緩やかな拡大となる公算が大きい。

○2010年の消費動向に関しては、値下げ販売、株価の上昇などが消費を下支えするものの、所得の伸び悩み、消費者ローン等での銀行の融資姿勢厳格化による信用逼迫・借入れコストの上昇が消費の拡大ペースを抑制すると予想される。

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
09/01	+2.1	(▲9.1)	+1.8	+2.6	+3.4	▲0.2	+8.1	+1.9	+4.8	+4.2
09/02	+0.4	(▲8.0)	+1.1	▲1.7	▲2.7	+0.1	+1.0	+1.3	+2.9	+3.9
09/03	▲1.2	(▲9.5)	▲1.1	▲2.3	▲2.1	▲2.2	▲8.5	▲0.7	▲3.2	▲2.4
09/04	▲0.3	(▲10.0)	▲0.3	▲0.3	+0.2	▲0.5	▲0.8	▲0.3	▲0.7	▲0.6
09/05	+0.5	(▲9.8)	+0.2	+0.8	+1.5	▲0.5	▲1.6	+0.3	+0.3	+4.3
09/06	+0.9	(▲8.8)	+0.7	+0.9	+1.8	▲0.5	+0.5	+1.1	▲1.3	+6.5
09/07	▲0.1	(▲8.5)	▲0.5	+0.5	+1.7	+0.2	▲1.1	▲0.4	+0.9	▲1.7
09/08	+2.4	(▲5.5)	+0.8	+5.6	+10.2	▲1.1	+0.9	+1.4	+1.5	+5.0
09/09	▲2.0	(▲6.1)	+0.7	▲8.5	▲14.1	+0.8	+2.1	+0.8	+0.9	+1.3
09/10	+1.2	(▲2.0)	▲0.0	+3.8	+7.4	▲0.9	▲0.7	+0.2	▲0.2	▲1.2
09/11	+1.8	(+2.5)	+1.9	+1.6	+1.2	+0.7	+2.8	+2.1	▲0.1	+9.6
09/12	▲0.3	(+5.4)	▲0.2	▲0.8	▲0.8	+0.3	▲2.6	+0.0	▲0.6	+1.0

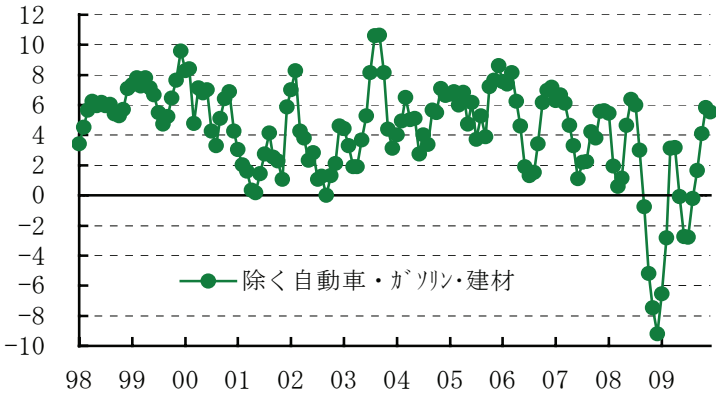
(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

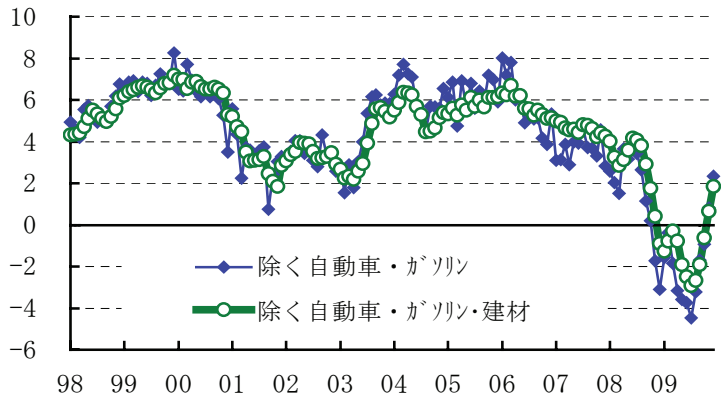
*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

(%) (図表) 米国：小売・飲食サービス売上高
(3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率)



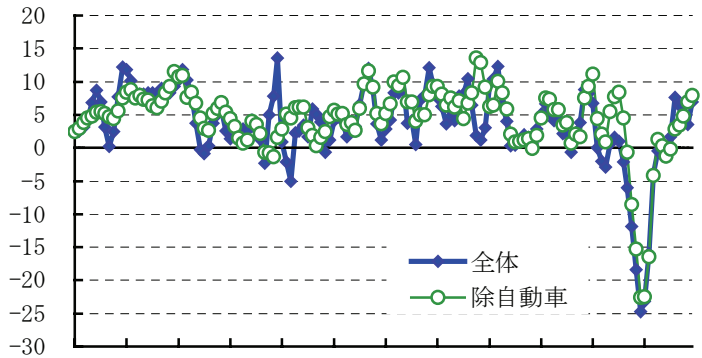
(出所) 米商務省

(%) 小売・飲食サービス売上高
(3ヵ月移動平均、前年同月比)



(出所) 米商務省

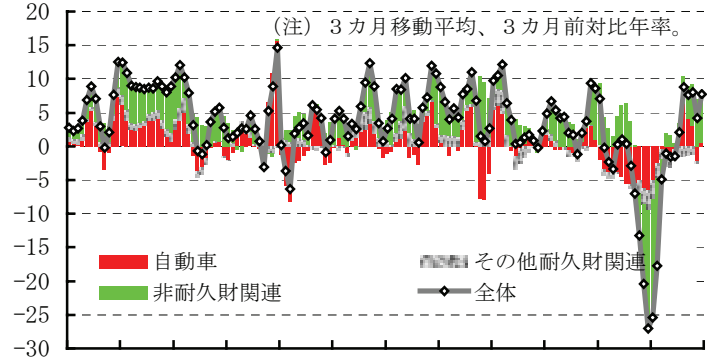
(%) 小売・飲食サービス売上高の推移



(出所) 米商務省

(注) 3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率。

(%) 小売売上高の財別寄与度の推移



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。